

実な運用を堅持すべきものであり、日本経済への貢献が目的ではない。ましてや年金積立金管理運用独立行政法人には保険料拠出者である被保険者の意思を反映できるガバナンス体制がなく、被保険者の意思確認がないまま、政府が見直しの方向を示すことは問題であると言わざるを得ない。リスク性資産割合を高め、年金積立金が毀損した場合、結局は厚生労働大臣や年金積立金管理運用独立行政法人が責任をとるわけではなく、被保険者が、受給者が被害を受けることになる。

よって、被保険者の利益を守り、年金積立金が毀損しないようにするために、年金積立金の安全かつ確実な運用を求める意見書を国会及び政府関係機関に提出していただきたいというものであります。

採決の結果、本請願は、全員一致で採択すべきものと決定をいたしました。

なお、後刻意見書を提出させていただきますので、よろしくご賛同賜りますようお願い申し上げます。

以上で厚生常任委員会に付託になりました案件審査の報告を終わります。

○**渋谷佐輔議長** 委員長の報告が終わりました。

ただいまの報告に対しご質疑ございませんか。  
(「なし」と呼ぶ者あり)

○**渋谷佐輔議長** 質疑もないので、質疑を終結いたします。

それでは、日程第8、議案第77号 長井市手数料条例の一部を改正する条例の制定についてから、日程第10、請願第7号 年金積立金の安全かつ確実な運用に関する意見書提出方請願までの3件について、討論の通告がありませんので、討論を終結し、順次採決いたします。

まず、日程第8、議案第77号 長井市手数料条例の一部を改正する条例の制定についての1件について、厚生委員長の報告は、原案可決であります。

厚生委員長報告のとおり決するに賛成の議員の起立を求めます。

(起立多数)

○**渋谷佐輔議長** 賛成多数であります。

よって、議案第77号は、厚生委員長報告のとおり決定いたしました。

次に、日程第9、議案第78号 長井市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定についての1件について、厚生委員長の報告は、原案可決であります。

厚生委員長報告のとおり決するにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○**渋谷佐輔議長** ご異議なしと認めます。

よって、議案第78号は、厚生委員長報告のとおり決定いたしました。

次に、日程第10、請願第7号 年金積立金の安全かつ確実な運用に関する意見書提出方請願の1件について、厚生委員長の報告は、採択であります。

厚生委員長報告のとおり決するにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○**渋谷佐輔議長** ご異議なしと認めます。

よって、請願第7号は、厚生委員長報告のとおり決定いたしました。

## 産業・建設常任委員会審査報告

○**渋谷佐輔議長** 次に、産業・建設常任委員会の審査の報告を求めます。

梅津善之産業・建設常任委員長。

(梅津善之産業・建設常任委員長登壇)

○**梅津善之産業・建設常任委員長** おはようございます。

平成27年第6回市議会定例会において、産

業・建設常任委員会に付託になりました請願2件について、審査いたしました経過と結果についてご報告申し上げます。

本委員会は、会議日程に従い、去る9月14日に開催し、委員全員出席のもと、紹介議員、当局関係者の出席を求め、審査をいたしております。

それでは、請願第4号 TPP交渉にかかる国会決議の実現に関する意見書提出方請願及び請願第5号 TPP交渉に関する請願の2件について、関連がありますので、一括して申し上げます。

請願第4号は、山形おきたま農業協同組合、木村敏和代表理事組合長及び山形おきたま農協農政対策本部、木村敏和本部長より提出されたものであります。

趣旨とするところは、7月のTPP閣僚会合において、日本が米の新たな特別輸入枠の設定や牛肉・豚肉の大幅関税の引き下げなど、農産物重要5品目について譲歩を容認したとの報道が相次ぎ、生産現場に大きな不安と政府への不信が募っており、TPP交渉が重大な局面を迎えている中、日米2国間の協議を含めた交渉に関する情報開示の徹底と食品の安全・安心及び食料の安定生産を損なわないこと、国の主権を損なうようなISD条項には合意しないこと、農林水産分野の重要5品目などの聖域を確保できない場合は脱退も辞さないこと等の国会決議を厳守し、交渉に臨むよう、TPP交渉に係る国会決議の実現に関する意見書を国会及び政府関係機関に提出していただきたいとするものであります。

また、請願第5号は、長井市農民連、遠藤重夫会長より提出されたものであります。

趣旨とするところは、7月のTPP閣僚会合は大枠合意に至らず、閉幕したものの、日米2国間の協議は大きく進展し、農産物重要5品目全てで日本側の譲歩が報道され、除外または再

協議を求めた国会決議に違反しているため、日米2国間の協議での合意内容を公表し、国会決議に違反する合意は撤回すること及びTPP交渉に関する国会決議を遵守し、守れない場合は交渉からは撤退することを求める意見書を国会及び政府関係機関に提出していただきたいとするものであります。

質疑に入り、委員からは、2つの請願はいずれも農産物重要5品目の聖域が守れない場合は、第4号では脱退も辞さないとし、第5号では撤退としているが、紹介議員はそれぞれどのように考えているかと質疑がなされ、紹介議員からは、米、小麦、でん粉、乳製品、牛肉・豚肉の5品目の交渉情報が十分に開示されていないことが大きな問題点と思うが、請願の趣旨としてはさまざまな面で日本国内の経済に及ぼす影響が大きいため、5品目を聖域として守っていただきたいという意味だと理解しているとの答弁を受けたところであります。

また、紹介議員からは、国は農産物重要5品目を聖域として守ると決議しているため、日本の農業を守るために必ず守っていただきたいということだと思ふ。請願第5号では、守れない場合は交渉から撤退ということをお願いしているとの答弁を受けたところであります。

請願第4号 TPP交渉にかかる国会決議の実現に関する意見書提出方請願の討論に入り、委員からは、この団体からは過去にもTPP交渉の請願が提出され、採択している。農産物5品目は農業者にとって非常に重要であり、重要なものである。日本の農業を考え、重要5品目の聖域を確保できない場合は脱退も辞さないこと等の国会決議を重視して交渉していただきたいという願意は適当だと思ふので、この請願に賛成するとの意見が出されたところであります。

採決の結果、請願第4号は、全員一致で採択すべきものと決定いたしました。

次に、請願第5号 TPP交渉に関する請願

の討論に入り、委員からは、請願第5号の願意も4号と同じような内容だと理解している。為替条項も含めた日米2国間協議での合意内容を公表し、TPP交渉に関する国会決議を遵守し、守れない場合は交渉から撤退するという決断も必要だと思うので、この請願に賛成するとの意見が出されたところであります。

採決の結果、請願第5号は、賛成多数により採択すべきものと決定いたしました。

後刻意見書を提出させていただきますので、よろしくご賛同賜りますようお願い申し上げます、以上で産業・建設常任委員会に付託になりました案件審査の報告を終わります。

○**渋谷佐輔議長** 委員長の報告が終わりました。

ただいまの報告に対しご質疑ございませんか。  
(「なし」と呼ぶ者あり)

○**渋谷佐輔議長** 質疑もないので、質疑を終結いたします。

それでは、日程第11、請願第4号 TPP交渉にかかる国会決議の実現に関する意見書提出方請願の1件について、討論の通告がありますので、発言を許可いたします。

議席番号11番、小関秀一議員。

(11番小関秀一議員登壇)

○**11番 小関秀一議員** 請願第4号 TPP交渉にかかる国会決議の実現に関する意見書方請願について、賛成討論を行います。

ことしも実りの秋を迎え、特に最盛期の稲の刈り取りも順調に進んでおりますが、昨年の米価の大暴落とそれぞれの農産物の生産の不安で農家の夢も薄らいでおります。

さて、今般の請願の趣旨については、これまでも長井市議会では既に請願採択と意見書の提出を平成22年12月、平成25年3月、平成25年9月各定例会で可決をし、意見書を各関係機関に提出済みであります。その後、日本は景気低迷からの脱却と少子高齢化に対応すべく、地方創生の施策に邁進中であり、その根底には国内、

地方の雇用の創出が最大の課題であります。それは何よりも暮らしと命を守る願いでもあるからにはありません。既に地方は規制緩和の中で例えば大規模小売店舗立地法などで、地方の経済、例えば地元商店のシャッター化など、疲弊をしております。また、農産物の輸入規制緩和などの経過から担い手不足や農産物の価格低迷に拍車がかかり、食料自給率も全く改善が見えません。

TPPの大きな問題は関税撤廃と大企業投資家のルールづくりだと私は思います。また、自国の権限が全く無視されかねないISD条項も危険な条項です。なお、安倍首相は9月25日、TPPに関する主要閣僚会議でアメリカ・アトランタで行われる9月30日から開かれるTPP閣僚会議に向け、今回を最後にしたいとの大筋合意を示しました。これは今後の日本やそれぞれの国の政治日程によるものとも言われておりますが、現段階では特に医療品のデータ保護期間、乳製品、自動車の原産地規制をめぐり、各国の対立が交渉の注目点と言われております。

しかし、交渉全体の決着のめどが見えてくれば、農産物重要5品目を日米間の決着も懸念されております。こうした動きに自民党、衆参国会議員の3分の2が所属する議員連盟、TPP交渉における国益を守り抜く会も農産物の主要品目の聖域確保を求め、国民の理解を得られるよう国会決議を遵守するように、25日、同会長、江藤 拓会長が首相に申し入れをしております。命の源の食料・医療・産業・雇用に与える影響が日本の風土を崩壊され、投資家や企業からの訴訟までも危惧されておるこの条項について、決して認めてはなりません。培ってきた地産地消を初めとする国内農業の崩壊、医療や公共事業、雇用の外国資本参入から日本人の暮らしと命を守るために、私は本請願に賛同いたすものであります。

なお、請願第5号 TPP交渉に関する請願

につきましても、一部表現の違いはあれ、請願の趣旨については同様の内容と理解しておりますので、あわせてご賛同いただければ幸いです。

以上で請願第4号の賛成討論といたしますので、ご賛同をよろしく賜りますようお願いを申し上げます。

○**渋谷佐輔議長** 通告による討論が終わりました。これから採決いたします。

請願第4号について、産業・建設委員長の報告は、採択であります。

産業・建設委員長報告のとおり決するに賛成の議員の起立を求めます。

(起立全員)

○**渋谷佐輔議長** 起立全員であります。

よって、請願第4号は、産業・建設委員長報告のとおり決定いたしました。

次に、日程第12、請願第5号 TPP交渉に関する請願の1件について、討論の通告がありませんので、討論を終結し、採決いたします。

請願第5号について、産業・建設委員長の報告は、採択であります。

産業・建設委員長報告のとおり決するに賛成の議員の起立を求めます。

(起立多数)

○**渋谷佐輔議長** 起立多数であります。

よって、請願第5号は、産業・建設委員長報告のとおり決定いたしました。

## 予算特別委員会審査報告

○**渋谷佐輔議長** 次に、予算特別委員会の審査の報告を求めます。

蒲生光男予算特別委員長。

(蒲生光男予算特別委員長登壇)

○**蒲生光男予算特別委員長** 平成27年第6回市議

会定例会において、予算特別委員会に付託になりました議案第79号 平成27年度長井市一般会計補正予算第6号を初め、特別会計補正予算6件、水道事業会計補正予算1件の平成27年度補正予算8件について、審査いたしました経過と結果についてご報告申し上げます。

予算特別委員会は、会議日程に従い、9月18日、24日の2日間にわたり審査が行われたところであります。

審査に当たっては、各会計補正予算の概要について担当課長の説明を受けた後、7名の委員の総括質疑が行われ、終了後に細部審査を行ったところでありますが、その経過につきましては、議長を除く全員で構成する委員会でありまので、後刻会議録によりご承知くださいますようお願い申し上げます、審査の結果のみご報告申し上げます。

議案第79号 平成27年度長井市一般会計補正予算第6号につきましては、梅津善之委員ほか2名から修正案が提出されましたので、提出された修正案について提案者から説明を受けた後、質疑、討論を行い、採決の結果、賛成少数で修正案は否決されました。

続いて、修正案が否決されましたので、原案について採決を行い、賛成多数で可決すべきものと決定いたしました。

次に、議案第80号 平成27年度長井市公共下水道事業特別会計補正予算第1号、議案第81号 平成27年度長井市山形鉄道運営助成事業特別会計補正予算第1号、議案第82号 平成27年度長井市農業集落排水事業特別会計補正予算第1号、議案第83号 平成27年度長井市介護保険特別会計補正予算第1号、議案第84号 平成27年度長井市浄化槽事業特別会計補正予算第1号、議案第85号 平成27年度長井市宅地開発事業特別会計補正予算第1号並びに議案第86号 平成27年度長井市水道事業会計補正予算第1号の補正予算7件につきましては、いずれも全員一致で原